

母娘でボランティア活動

「ボランティアを通じてみのくれに関わられてとても楽しい」と話す袴田さん母娘



母：みの〜れ支援隊公演スタッフ 他

袴田喜美子さん
涼子さん

娘：光と風のステージドリンク隊

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.08

母の背中 見て育つ

母娘の共通の趣味は音楽。音楽を通じて二人の世界は無限にひろがる。時にはランチを取るのも忘れて東京でのショッピング、時にはSMAPのコンサート。家では娘、涼子さんのピアノ伴奏で母、喜美子さんが歌う。まるで姉妹の様な親子。

袴田喜美子さんは、みの〜れボランティアスタッフの一員として活躍中。コンサート時のチケットのもぎりや会場案内など手際よくこなす。一番大変な事は真つ暗な中での会場案内。「誘導するのが大変だけどやりがいがある」と笑顔で話す。他には、中本ニッティングスクール改善センター教室のマネージャー、小美玉市文化協会の役員、コーラス「エーデルワイス」の一員として活躍中。中学生のときに合唱部に入ったのがコーラスとの出会い。美野里町の文化祭での発表会を見て

エーデルワイスに入り、一年になる。「歌うことが好き、みんなと一緒に同じ時間が共有できるから楽しくて…」と語る。袴田涼子さんは大学四年生。三月には卒業、四月からは保育士として社会人の仲間入りをする。みの〜れでは、光と風のステージでドリンク隊として活躍。「みの〜れはいつ来ても楽しくて来やすいところです」。涼子さんは三才からピアノを始めた。涼子さんが生まれた時にピアノ貯金を喜美子さんが始めた。三才になった時にピアノをプレゼント。現在もピアノ教室に通う。「小さい頃から保育士になるのが夢です」とピアノを続け

た」と語る。涼子さんは小さい頃から喜美子さんの歌声を聞きながら育ち、今は、涼子さんのピアノに合わせて喜美子さんが歌うという。「お父さんが良き理解者です」と二人。四月から保育士として活躍する涼子さんは、「保育士になって子ども達に音楽の楽しさを教えたり、手遊びの面白さ、リトミック(※)を通じて遊びたい」と夢が膨らむ。

人生の先輩として喜美子さんは、「人の立場に立つて考えてもらえたらその結果が出ると思う」と涼子さんにエールを送る。

(藤田佐知子)

※リトミック…身体運動を通して行う音楽教育法